

令和3年 第3回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、令和3年第3回市議会定例会の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

先月、世界的なスポーツの祭典として開催されました東京2020オリンピック競技大会において、本市出身の文田健一郎選手が、レスリング男子グレコローマンスタイル60キロ級で見事に銀メダルを獲得し、本市初のメダリストとなりました。

これまでのご功績とこの度のご活躍に対し、市民を代表して心から敬意を表する次第であります。

コロナ禍の中で、ひたむきに目標の実現に向け練習を重ね、大会では得意技を封じられながらも己のプレースタイルを貫き通した姿と試合後、真っ先に周囲に感謝を伝えた人間性は、多くの方々に勇気や感動を与えてくれました。

3年後のパリオリンピックへの決意を新たにした文田選手の夢の実現に向け、今後も市をあげてエールを送り続けてまいります。

一方、新型コロナウイルス感染症につきましては、7月下旬以降、感染者が急増していることから、本県独自の緊急の協力要請につづき、まん延防止等重点措置の対象区域に指定されました。

これを受け、本市では、これまでの対策に加え、人が集まるイベントや会議等を延期又は中止し、市民交流センターニコリ、葦崎大村美術館などの施設を休館するとともに、市民及び事業者の皆様へは市ホームページ、防災行政無線、チラシの各戸配布などにより、不要不急の外出の自粛や感染防止対策の徹底をお願いしているところであります。

また、時短営業要請や酒類<sup>さけるい</sup>の提供禁止等により、経営に大きな影響を受けている飲食店などの皆様に対し、迅速に支援策を講じることといたしました。

感染力が強いデルタ株が猛威を振るい、医療の逼迫が深刻さを増しているため、感染リスクを縮小させるワクチン接種も引き続き、推奨してまいります。

なお、ワクチン接種につきましては、高齢者の接種率が、9割に迫っており、県内でも高く推移し、希望する方は、概ね完了したものと考えております。

また、64歳以下につきましては、予約の混雑状況を鑑み、年齢を区切って、順次、接種券の発送を行い、先月中旬までに、すべての対象者に送付を終えたところであり、予約及び接種済者も約7割に達し、国が示す11月末までに全希望者の接種を完了できるよう、今後も、全庁体制で取り組んでまいります。

7月に静岡県熱海市で発生した大規模土石流は、建物の倒壊や多くの人命が失われるなど甚大な被害をもたらし、その後も全国各地で災害級の大雨が頻発し、河川の氾濫や土砂崩れ等により、警戒レベル5の緊急安全確保が相次いで発令される事態となりました。

被災された皆様に、謹んでお見舞いとお悔やみを申し上げます。

この度の土石流は、地盤がもろく、急峻な地形であるとともに開発行為で生じた盛り土が被害を甚大化させたとの指摘もなされており、現地と同様の場所では、同じような災害が起きる可能性があることから、県とともに緊急点検を実施し、特に異常がないことを確認しております。

また、大雨により岩下地内の通学路で落石があったことから、児童の安全を確保するため、登下校の送迎を実施するとともに、早急に法面転石防止対策を講じたところであります。

さて、我が国の経済状況につきましては、内閣府の月例経済報告において「依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している」とされ、日銀甲府支店による金融経済概観でも「サービス消費を中心に引き続き厳しい状態にあるが、基調としては持ち直している」とした総括判断をしております。

感染症の影響を十分に把握し、今後の情勢を見極めながら、効果的な経済対策の実施を心がけてまいります。

次に、本年度の主な事業の動向と新たな取り組みについて申し上げます。

始めに、第7次総合計画の見直しについてであります。

先に申し上げました、新型コロナウイルス対策はもとより、ゼロカーボンシティの実現やデジタルトランスフォーメーションの促進、並びに持続可能な開発目標（SDGs）に対する取り組み等、昨今の市民生活を取り巻く変化に対応するため、2つの施策を追加し、3つを変更するなかで、具体的事業を位置づけることといたしました。

今後におきましても、計画に基づいた施策の展開と社会情勢に即した取り組みを積極的に推進し、時代の要請に忘れてまいります。

次に、子育て環境の整備についてであります。

本年4月に設置した保育所業務改善検討会での内容を踏まえ、保育士業務の効率化及び保育園と保護者の円滑な情報共有を図るため、国の制度を活用してタブレットや業務支援システム等をモデル的に導入することといたしました。

今後は、その効果を評価・検証し、更なる効率化に取り組んでいくことで、子どもたちへの豊かな保育環境が提供できるよう努めてまいります。

次に、生涯学習の推進についてであります。

市民交流センターニコリと大村記念図書館の開館10周年を記念し、来月17日、大村智博士による「読書と私」をテーマとした講演会を開催いたします。

これまで読んでこられた膨大な本の中から特に印象に残っているものや、本との関わり、読書の効用などの内容であり、生涯にわたっての自発的な学びの大切さを再認識していただく機会となることを期待しております。

次に、スポーツ活動の充実についてであります。

この度、県下に先駆け、本市が誇る豊かな自然環境や歴史文化などの地域資源を融合させ、スポーツを核に地域の活性化に取り組む「葦崎市スポーツコミッション」の設立に向け、検討委員会を立ち上げたところであります。

新市営体育館の供用開始を見据え、市民が健康と生きがいを見つけ、人生の質を高める生き方「ウェルネスの実現」の視点からも検討を進め、「誰もが明るく元気なスポーツのまちづくり」を積極的に推進してまいります。

次に、防災体制の強化についてであります。

今週末の総合防災訓練につきましては、新型コロナウイルスの感染者の急増により、市民が参加しての実施は、やむなく中止することといたしましたが、当日、防災アプリを活用した各地区代表者や消防団員等からの情報伝達訓練、また、葦崎工業高校での特定地区総合防災訓練及び停電を想定した電源確保の実践などは、感染状況を注視しながら、日をあらためて行う予定であります。

次に、道路の整備についてであります。

市道穂坂97号線につきましては、交通混雑の緩和や地域住民の利便性向上などを図るため、地権者及び関係機関との協議を重ね、詳細設計及び用地買収を進め、早期完成を目指してまいります。

また、葦崎駅からニコリ方面への歩行者の安全対策と往来を改善するため、横断歩道の設置などについて具体的な案を提示し、利用者をはじめ関係機関と協議を進める予定であります。

さらに、県において、穂坂町三之蔵の県有林に管理捕獲従事者等研修施設を整備することが決定されましたので、施設までの道路を拡幅整備するため、概略設計を実施してまいります。

次に、自然環境の保全についてであります。

近年、ニホンジカによる高山植物への食害が確認されているため、過日、鳳凰三山の高山帯で防護柵を設置するなどの植生保護活動を行い、4箇所延べ350mにも及ぶ柵を設置いたしました。

この度の活動に際し、多大なるご協力を賜りました白鳳会をはじめ、山小屋関係者、甘利山倶楽部の皆様などに対し、あらためて御礼申し上げる次第であります。

今後も、ユネスコエコパークの基本理念である「生態系の保全と持続可能な利活用の調和」を図ってまいります。

次に、魅力ある観光施策の充実についてであります。

本市が誇る「わに塚のサクラ」につきましては、近年、花の咲き具合に弱さを感じ、また、折れ枝が目立つようになってきていることから、ふるさと納税型クラウドファンディングを活用した樹勢回復事業を実施し、次世代に繋げてまいりたいと考えております。

次に、地区活動の推進についてであります。

地域コミュニティを支える自治会活動につきましては、人口減少及び高齢化社会の進展、ライフスタイルの多様化等により、加入率の低下や担い手不足といった課題に直面しております。

このため、自治会改革検討委員会を設置し、実績のある民間企業からアドバイザーを招き、課題解決に向け取り組んでまいります。

次に、国際交流の推進についてであります。

先月9日から本市がホストタウンとして受け入れておりますチェコ共和国代表、パラリンピアンのパトリック・ヤホダ選手におかれましては、猛練習を重ねて挑んだ本番では、持てる力を存分に発揮され、惜しくも目標のメダル獲得はなりませんでしたが、重度の障がいを抱えながら、懸命に努力している姿には、強く感銘を受けるとともに共生社会実現の重要性をあらためて感じたところであります。

明日には、ヤホダ選手をお招きして、市役所で競技報告を受けることになっており、その後のオンライン等による子どもたちとの交流では、国際感覚の醸成をはじめ、スポーツの素晴らしさや心の豊かさを感じ取れる機会となることを期待しております。

次に、今議会で認定をいただく、令和2年度決算についてであります。

一般会計につきましては、歳入総額は、185億3,105万7千円、前年度に比べ、25.7%の増、歳出総額は、178億8,961万3千円、前年度に比べ、24.8%の増と新型コロナウイルス感染症対策により、過去最高の決算額となりました。

歳計剰余金は、6億4,144万4千円で、翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、4億5,572万円であります。

また、単年度収支に財政調整基金の繰入等も含めた「実質単年度収支」は、9,000万9千円の黒字となっております。

なお、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」につきましては、88.2%と、法人市民税や普通交付税の経常一般財源の増により、前年度より1.6%改善しております。

次に、「健全化判断比率」につきましては、「実質公債費比率」が0.6%減の8.8%、「将来負担比率」は6.2%増の82.5%となり、いずれの指標も早期健全化基準を大きく下回る結果となっております。

また、特別会計につきましては、実質収支の総額が6,841万円となり、水道事業会計におきましても純利益を出すなど、堅実な財政運営を行うことができたところでもあります。

なお、病院事業会計につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が経営に大きな影響を及ぼし、純損失が1億4,876万4千円となったところではありますが、今後も、医療の安定的かつ継続的な提供を目指し、経営改善に努めてまいりたいと考えております。

議員各位のご協力と市民の皆様のご理解に支えられ、令和2年度も健全財政を維持できたところではありますが、なお一層、効率的な予算執行に取り組み、将来を見据えた計画的な財政運営に努めてまいる所存であります。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の6月議会以降の新たな行政需要に対応するため、予算につきまして、補正の必要が生じたので対処いたしましたところでもあります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

報告案件	1件、
予算案件	2件、
その他案件	2件、
認定案件	16件であります。

このうち、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正は、前年度繰越金、地方交付税等の確定に基づく歳入予算を計上したほか、定期人事異動に伴う職員給与費の補正並びに緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところでもあります。

まず、議会費につきましては、議員用タブレット端末への会議システム導入関連経費として、議会活動費に86万円を追加計上するなど、総額145万3千円を増額補正しております。

次に、総務費であります。

令和2年度決算における実質収支の2分の1相当額を積み立てるため、財政調整基金積立金に2億2,786万1千円、生前本市と関わりのあった故人からの遺贈財産1,619万1千円を小中学校施設整備基金に、企業版ふるさと寄附金1,000万円を、まち・ひと・しごと創生基金にそれぞれ積み立て、自治会改革検討委員会を新たに設置する経費として地区活動推進事業費に76万9千円を追加計上するなど、総額2億996万4千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

新型コロナウイルスの感染症が拡大するなか、離職者または休業者の住宅確保に対する要支援者の増加により、生活困窮者住居確保給付事業費に101万3千円、介護保険特別会計への繰出金に1,059万7千円、保育園のICT化を推進するための経費として保育園運営費を283万6千円増額するなど、総額6,247万1千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

入院養育が必要な未熟児の医療給付費の増により、療育医療費助成事業費を246万7千円増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

鳥獣害防止柵の設置経費として有害鳥獣駆除対策事業費に88万3千円を追加計上し、県営事業費の増額に伴う市負担金の増等により、県営畑地帯総合土地改良事業費に176万8千円、県営中山間地域総合整備事業費を120万円増額するなど、総額159万8千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

移動販売車の修繕費として、まちなか活性化対策事業費に42万5千円、「わに塚のサクラ」の樹勢回復のため、観光振興事業費に244万2千円を追加計上するなど、総額282万7千円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

社会資本整備総合交付金の内示により、橋梁修繕詳細設計に2橋、跨道橋3橋の修繕経費を増額するため、道路施設長寿命化推進事業費に1億516万円、道路詳細設計や土地購入等の経費として、市道穂坂97号線道路整備事業費に1億503万円を追加計上するなど、総額2億3,700万5千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

消防団員等公務災害補償等共済基金の助成金を活用し、消防団員の装備品を購入するため、消防団運営事業費に51万円を追加計上し、防火水槽の修繕費として消防施設維持管理費を87万5千円、耐震性貯水槽設置工事費の追加経費として災害対策事業費を131万9千円増額するなど、総額199万4千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

落石の恐れがある通学路において登下校時の安全を確保するため、児童の送迎経費として、学校安全体制整備事業費に113万2千円、甘利小学校の受水槽及び送水ポンプの修繕経費として、小学校施設管理事業費に1,060万4千円、菰崎大村美術館の図書、作家資料、展示用資材を収納するための一般倉庫建設費等として、美術館管理運営費を3,807万5千円増額するなど、総額6,130万3千円を増額補正しております。

次に予備費であります。

まん延防止等重点措置の対象区域になり、経済活動に影響を受ける事業者に対し、速やかにきめ細かな支援事業等を実施するため、3,000万円を増額補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、6億1,078万6千円の増額補正となり、現計予算額は148億5,766万円となります。

次に、特別会計であります。

介護保険特別会計につきましては、令和2年度決算に基づく国庫支出金等償還金に5,862万1千円、積立金に874万6千円を追加計上し、定期人事異動による職員給与費、高額医療合算介護サービス費を増額するなど、総額7,773万8千円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記してありますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

令和3年9月2日

菰崎市長 内藤 久夫